

# 農村からの発言

## ―何が変わりつつあるか―

特定非営利活動法人地域おこし

多田 朋孔

# 内容

- 自己紹介、地域紹介
- 活動紹介
- 何がかわりつつあるか

自分



第44代京都大学応援団長

'00 10:29

# 地域紹介

## 新潟県十日町市

人口: 49,545人

(令和4年6月末現在)

面積: 589.92km<sup>2</sup>

### 【特産品】

魚沼産コシヒカリ

アスパラガス

山菜

カルビ外マト

雪下ニンジン

丸なす(梵天丸)

妻有ポーク

きのこ類

(えのき、なめこ、エリンギ)



# 池谷集落



**【2022年現在】当初**

**11世帯20名**

**（高齢化率30%、子供の割合30%）**



自宅  
(古民家を改築)



NPOの事務所  
(廃校を活用)







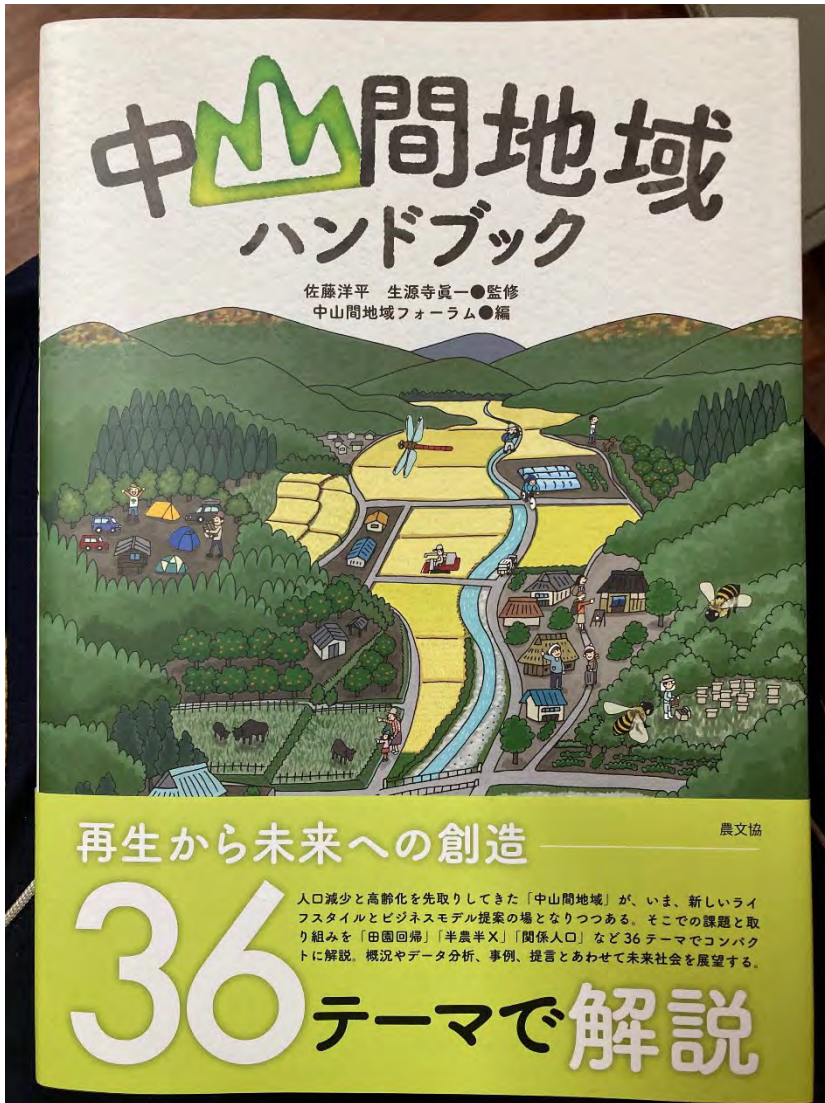
# 地域おこしの活動を生業に (NPO法人地域おこし)



- 農業生産・加工・販売
- 農村体験交流の受入れ
  - － 棚田オーナー
  - － 企業の研修受入れ
- 他の地域の応援
  - － 自治体・地域団体向け講演・研修。WS
  - － 地方での起業支援



# 中山間地域ハンドブックにも寄稿



## 中山間地域再生のモデルを整理して 全国に広める



多田朋孔 (NPO 法人地域おこし理事・事務局長)

ただ・ともよし 第44代京都大学応援団長、京都大学文学部卒業。リーマンショックを機に、長い目で見たら自分で将来食べ物をつくれるようになるべきだと思うようになり、2010年に当時6世帯13目で見たら自分で将来食べ物をつくれるようになるべきだと思うようになり、2010年に当時6世帯13目での限界集落だった新潟県十日町市池谷集落に家族で移住。自身でも米、野菜を生産・販売しながら地域おこしに取り組み、池谷集落は限界集落から脱却。著書「高踏の集落：廢村寸前「限界集落」からの再生」(農文協)。YouTube「元限界集落から地域おこしチャンネル」は登録者数2万人。

私の住む新潟県十日町市の池谷集落は一時期6世帯13名まで人口が減り、高齢化率は64%で子供は0名と廢村寸前の状況であった。現在は11世帯20名となり、高齢化率は30%、子供の割合も30%と若返っている。本提言では、このような現場での実態を踏まえて中山間地域再生のために重要なポイントを整理し、他の地域でも応用可能なモデルを提示したい。そして、このモデルを実際に全国に広めるためのアイデアについても提案したい。

### 関係人口をつくる

池谷集落は中越大地震で被害を受けた。この時、震災復興で多くのボランティアを受け入れた。このボランティアとの交流を通じて、集落の人たちは「どうせこの集落はなくなってしまおう……」というあきらめ感から、「都会から自然が好きなき若者を受け入れて集落を存続させたい」というふうに向向きな気持ちに変化していった。いわゆる関係人口をつかって受け入れることによって集落の人たちがよそ者を受け入れたいというふうに変化した。

つまり関係人口を上手に活用することで集落の人たちの気持ちを動かしていくということが地域づくりの最初の段階ではとても重要なことである。そして関係人口をうまく受け入れるためには、関係案内人にあたる人がうまく都会の人と集落の人の橋渡しをしていく事が重要である。池谷集落の場合は山本浩史さんという地域の活動団体の代表がボランティア受け

入れと集落の人たちの橋渡しをしていた。これにより、関係人口のミスマッチを防ぐことができていた。

### 関係人口から移住・定住へ

関係人口の受け入れを継続するなかで、池谷集落の人たちは集落の存続を目指すようになり、移住者を受け入れる具体的な行動を起こす。それが、空き家を集落で買い取って改修し、地域おこし協力隊の受け入れを行ったことである。筆者は地域おこし協力隊として池谷集落に家族で移り住んだ。そして地域おこし協力隊の任期終了後も定住し、その後にも移住者受け入れのためにお試し移住のインターンシップを受け入れたり、シェアハウスを地元の杉の木を使って新築で建てたりして、移住者の受け入れを継続的にしている。

### 移住者が棚田の担い手に

集落で活動していた団体は筆者が地域おこし協力隊の時にNPO法人化させ、現在農業参入している。集落には高齢化で田んぼをやめてしまった方や残念ながら亡くなってしまった方もいるが、その方々の耕作していた棚田をNPO法人を受け皿として引き継ぎ、農業機械やライスセンターなどの施設を揃えて若い担い手が組織的に耕作できる体制を整えた。

現在は約5町歩の棚田を管理している。今後徐々に耕作面積は増え、約10町歩ほどになる見込みである。

# 著書：奇跡の集落

～ 廃村寸前「限界集落」からの再生～



## ■月刊ソトコト編集長指出一正氏

「関係人口」のお手本は、多田さんと池谷集落のみなさんにあります！

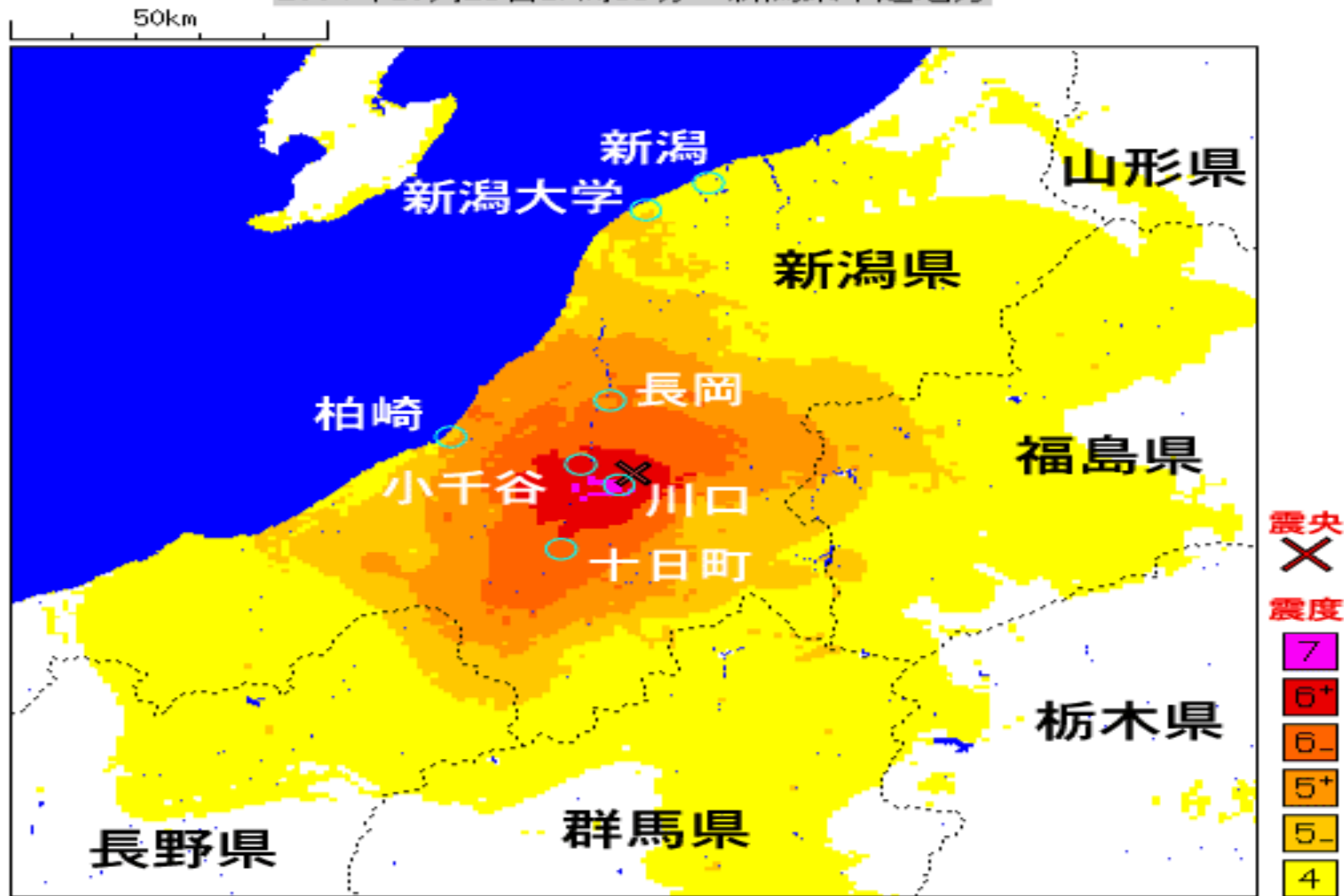
## ■明治大学教授小田切徳美氏

これは、農山村再生という目標から、より高いレベルの都市農村共生構築への挑戦である。多田氏のこうした実践に導かれ、政策的にも、そして研究的にも新たな目標設定が求められているのではないだろうか。

そうであれば、本書はその幕開けを宣言する革新の書に他ならない。

# H16年10月23日 17:56 新潟県中越大震災発生

2004年10月23日17時56分 新潟県中越地方



北緯37.3度 東経138.9度 深さ 13km M:6.8

©特定非営利活動法人地域おこし

# 震災以降、池谷集落は8軒から6軒へ

もうムラを  
たたむしか  
ない



# 「特定非営利活動法人JEN」による復興支援

## JENとは

「平和な国際社会作りを目指し、世界各地で紛争や自然災害などにより厳しい状況にある人々へ、『心のケアと自立の支援』をモットーに、きめ細やかな支援活動を行う」国際協力  
**NGO**

**本部：東京都新宿区**  
**現在進行中のプロジェクト**  
アフガニスタン イラク スリランカ  
パキスタン スーダン ハイチ 宮城

# 「十日町市地域おこし実行委員会」結成



H17年3月、新潟中越地震の震災復興支援のボランティアとの出会いを通して、池谷・入山集落住民主体の「実行委員会」を結成しました。

## 実行委員会の活動目標

# 震災復興と集落の存続をめざして 都市住民ボランティアとの協力・協働

- ・震災復興と営農生計の確立(米の直販・その他)
- ・後継者の育成・受入れ環境整備
- ・耕地・山林の維持・整備(中山間地機能維持)
- ・日本全体の問題(限界集落・食糧・環境)への挑戦



# 拠点作り

震災翌年(H17年4月)市よりボランティアの宿泊所として、池谷分校を無料で借用、「やまのまなびや」と命名

数回の改修を経てボランティア活動の拠点に



# 池谷分校「やまのまなびや」



# H17年～ 除雪ボランティア「スノーバスターズ」の受入れ



# H17年5月～ ボランティアの受入れ

震災復興・援農ボランティア ➡ 地域おこしボランティアへ



# H17年～毎回必ず行うボランティアとの交流会(村人がお客)



# 外部からの支援団体

特定非営利活動法人 JEN(新宿区)

特定非営利活動法人 棚田ネットワーク(新宿区)

特定非営利活動法人 まちづくり学校(新潟市)

特定非営利活動法人 中越復興市民会議(長岡市)

2年間に  
20回の  
ワークショップ



# 先進地視察・学習会

「生業はじめの勉強会」

新潟県上越市牧区宇津俣

宮城県大崎市「鳴子米プロジェクト」

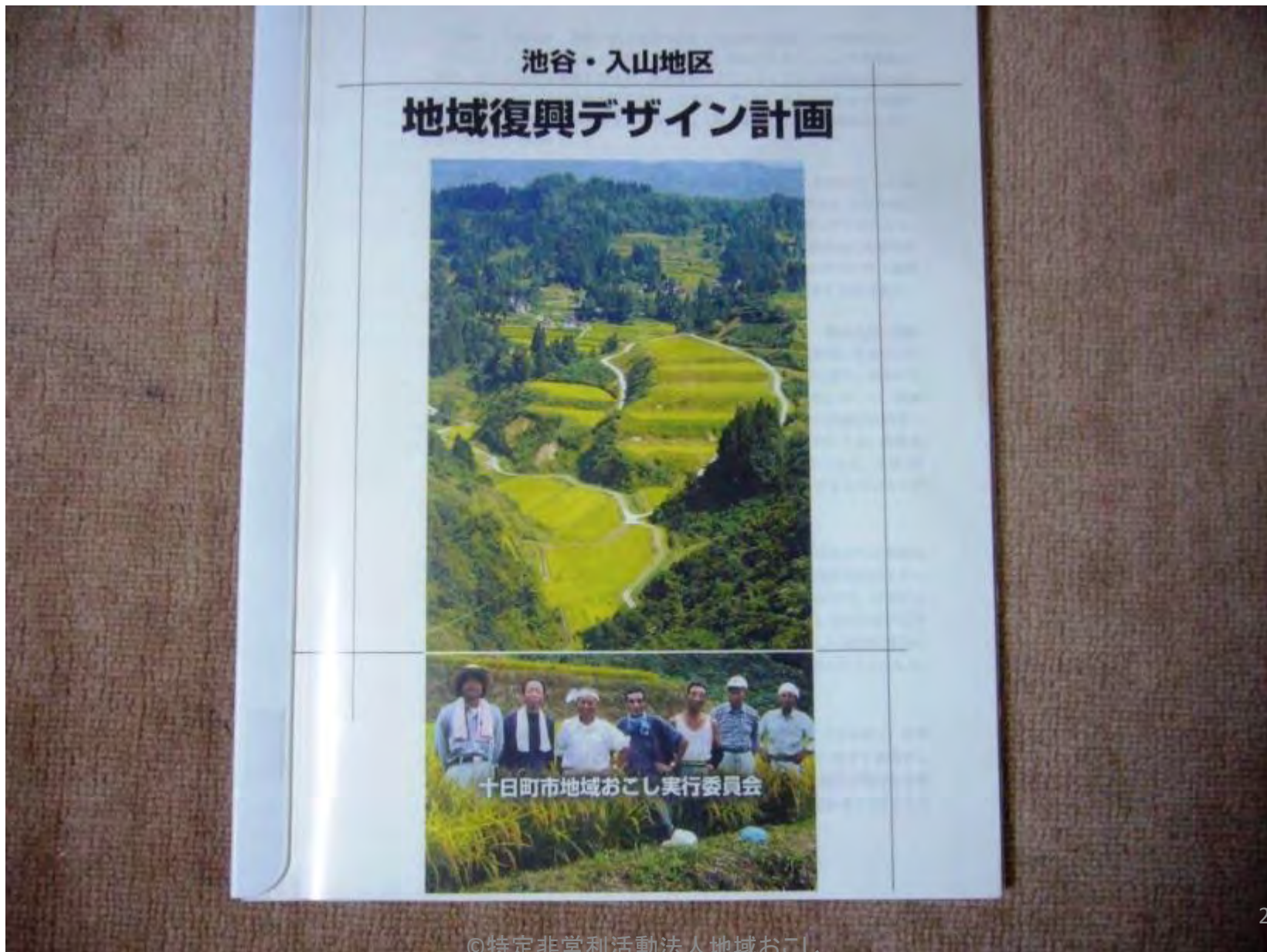
新潟県村上市山熊田「山北生業の里」

2年間に20回のワークショップ

他



# H20年2月 池谷・入山地区「地域復興デザイン計画」策定

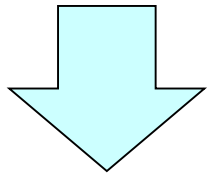




# デザイン計画の理念

集落での暮らし・人の営みを継続させる  
居住者が住める条件の整備 → 「復興デザイン計画」

- 住居・人
- 仕事
- 収入



日本の農業・農村の  
問題に正面から取り  
組む。



# デザイン計画の実行（1）

1) 米直販の本格実施 → **収入を増やす**

- ・ミニ精米プラント導入（20年8月導入）
- ・「山清水米」ブランド構築（20年10月）
- ・米直売のための受注システムの構築（21年2月）
- ・販路拡大のための活動



# デザイン計画の実行（2）

2) 都市交流の促進・事業化を模索 → **仕事・収入を増やす**

- ・エコツーリズム
- ・ボランティア受入れ
- ・収穫祭、山菜まつりの開催



# デザイン計画の実行（3）

## 3) 後継者育成・定住促進 ➡ 住まい・住む人

- ・空き民家の改修
- ・農業研修生の受け入れ
- ・短中期滞在者の受け入れ
- ・地域おこし協力隊募集
- ・新規就農者支援
- ・定住希望者への支援活動



# 池谷集落との出会い



前職で勤めていた会社

社会貢献活動の一環で支援

- ・寄付
- ・長期戦略のワークショップ
- ・従業員教育



池谷集落

中越大震災をきっかけに  
復興支援

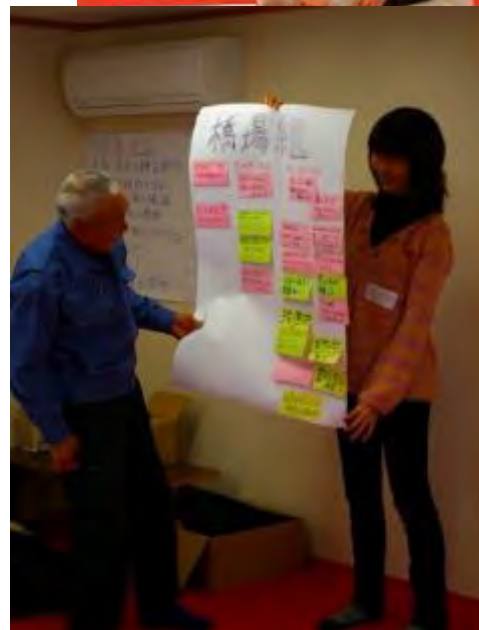


ジェン

# 内容

- 自己紹介、地域紹介
- 活動紹介
- 何がかわりつつあるか

# ビジョン検討



2010年3月6日～7日集落の人達とボランティアの方々が集まって  
ワークショップ

# ビジョン検討



5年後の姿を絵に描いて表現




# JENからの自立式



2010年11月26日JENから自立し、支援が終了

# 資金調達、NPO法人化：農村六起 ビジネスプラン・コンペティション



提出日: 2011年1月5日

農村六起ビジネスプラン・コンペティション 申請書

※農村六起ビジネスプラン・コンペへの申込は、本書式に沿ってご記入ください。

起業プラン名	21世紀型の持続可能な農産物の生産と発信事業		
氏名	多田 朋礼	性別	男性
年齢・生年月日	32歳 1978年1月23日生まれ		
住所	新潟県十日町市中茶屋963-3		
電話	090-1719-2947		
F A X	025-761-7009		
E-mail	tomoyoshi@tadafamily.co.jp		
参加を希望されるビジネスプラン・コンペ開催日・地域	【開催日】 1月30日	【開催地域】 新潟	

1. 事業の概要（事業の概要を詳細にわかりやすくご記入下さい）  
 本事業が新潟県十日町市内の地産・入山産物において持続可能な発展モデルを自ら構築している地域を作り、参加者の定住を促進させ、全国に情報発信する事を通して、全国各地の過疎地の発展で持続可能な生活スタイルを再現させる事を目的とします。  
 持続可能な発展モデルを目指すのは以下の通りです。  
 ① 将来的に生活が成り立つ状態 ② ある程度の現金収入とも生活に必要なものの確保・自給  
 ③ お互いに助けあえる関係で助け合い、安心して楽しく生活ができる状態  
 最終的には、①②ある程度の現金収入を得るために産直物・加工品・山林の木を商材にするなどの産物事業、エコツーリズムとして来訪者の受け入れ事業、情報発信や地域活性化について他地域へのコンサルティング事業を行います。また、③も生活に必要なものの確保・自給をするために、牛糞からバイオガスと液肥を分離したり、山林の木は間伐してはエネルギー・自給のためにも用いる事を考えております。③お互いに助けあえる関係で助け合い、安心して楽しく生活ができるために、このような事業や地域の行事を発展を取り組み、當が定期的に集まる機会を持つ事を我が大前提と考えております。



ふるさと起業家として認定され企業支援金200万円を獲得

# NPO法人としての理念

- ① 池谷・入山地区の集落と農業の継続を実現しつつ、全国の過疎の集落が抱えている集落存続問題の成功例を示す。
- ② 持続可能な新しい村づくりを実践し、循環型の社会モデルを目指し100年持続させる展望を示す。
- ③ 地元住民だけでなく地域外の関係者も含めて、新しい村づくりを進める。
- ④ 相互扶助と心豊かな社会実現を目指す。

# NPO法人としての目的

1. この法人は、十日町市内の池谷・入山集落において都会からの後継者の定住を促進し、持続可能な集落モデルを自ら体現している地域を作り、全国に情報発信する事を通じて、全国各地の過疎地の集落で農業の後継者を増やし、持続可能な生活スタイルを実現させ、都市部に対しても安心・安全な食料や再生可能エネルギーの供給を行う事で日本全体を持続可能な社会にする事に貢献することを目的とする。
2. 持続可能な集落モデルとは以下のように考える。
  1. 物理的に生活が成り立つ状態  
(aある程度の現金収入とb生活に必要なものの循環・自給)
  2. お互いに顔が見える関係で助け合い、安心して楽しく生活ができる状態

# NPO法人としてのビジョン

- ① 池谷・入山を存続させる
- ② 十日町を元気にする
- ③ 日本の過疎の成功モデルを示し日本や世界を元気にする

# ビジョンから見た事業の区分

② 十日町を元気にする  
⇒② 地域おこし応援事業

① 池谷・入山を存続させる  
⇒① 池谷・入山モデル作り事業

③ 日本の過疎の成功モデルを示し日本や世界を元気にする  
⇒② 地域おこし応援事業

# 「NPO法人地域おこし」の事業

- 池谷・入山モデル作り事業

- 農産加工品の生産・販売

- 地域外の人達との体験交流

- 地域おこし応援事業

# 無農薬・無化学肥料での米作り





# NPO法人として営農開始

平成25年度	畑作を試験的に実施
平成26年度	稲作の組織化開始、農業参入手続き
平成27年度	農の雇用事業で農業部門のメンバーを雇用
平成28年度	法人として認定農家になる
令和元年度	ライスセンターが完成する
令和3年度	33馬力のトラクター購入
令和4年度	ツインモア導入





# インターネット、FAXを通じて直販



精米作業と販路拡大のための取り組み

# ふるさと納税の返礼品に

山清水米のふるさと納税

TRUSTBANK, Inc. [JP] | https://www.furusato-tax.jp/search?disabled\_category\_top=1&target=1&q=%E5%B1%B1%E6%B8%B5%E6%B0%B4%E7%B1%B3&city\_

会員登録不要

表示順: **標準** お気に入り数順 寄附額の高い順 寄附額の低い順 新着順 感想数順

簡易表示 **詳細表示**



**10KG**

### 農家直送! 魚沼産コシヒカリ

農家直送◇魚沼産コシヒカリ「山清水米」精米10kg

**24,000 円**

◇豪雪地の棚田で栽培した魚沼産コシヒカリ! ◇令和元年産米! ◇低温保存した玄米を都度精米しています!  
◇準備が出来次第、順次発...

**日指定** **別送**

【管理番号】CF09-NT

新潟県十日町市



**定期 10KG**

### 農家直送! 魚沼産コシヒカリ

【定期便/全12回】農家直送◇魚沼産コシヒカリ「山清水米」玄米10kg

**260,000 円**

◇豪雪地の棚田で栽培した魚沼産コシヒカリ! ◇令和元年産米! ◇毎月5kg×2袋ずつ12回のお届け! ◇低温保存で鮮度を保った玄...

**別送**

【管理番号】CF06-NT

新潟県十日町市



**山清水米みんなの棚田**

### 山清水米みんなの棚田

白米40KG

【棚田オーナー】山清水米みんなの棚田 標準コース

**129,000 円**

◇豪雪地の棚田で魚沼産コシヒカリを育てよう! ◇自分のペースで参加可能! ◇配当米と一緒に、農産物をプレゼント! 「山清水米みんな...

**別送**

【管理番号】CF14-NT

新潟県十日町市

# 農作業等の様子をYouTubeで発信

The screenshot shows a Safari browser window displaying the YouTube channel page for '元限界集落から地域おこしチャンネル' (Channel with 1.73 million subscribers). The main video thumbnail shows people in a muddy field planting rice seedlings. The video title is 'NPO法人 地域おこし 活動紹介' (NPO Activity Introduction) and it has 13,417 views from a year ago. The video description mentions activities in the '元限界集落' (former remote village) and provides contact information for the NPO: 〒949-8613 新潟県十日町市中条庚939-2 池谷分校やまのまなびや. Below the video, there are thumbnails for other popular uploads, including one titled '深みにハマった時' (When I got hooked) and another '水源' (Water source).



# 当チャンネルの視聴者層



# クラウドファンディングに挑戦

Safari ファイル 編集 表示 履歴 ブックマーク ウィンドウ ヘルプ

n-ippo.en-jine.com

6月3日(金) 10:21

棚田の草刈りを効率化させて次世代に繋ぎたい! | クラウドファンディング - にいがた、いっぽ

未来を創るクラウドファンディング  
にいがた、いっぽ


プロジェクトを探す プロジェクトを始める このサイトについて

支援履歴 お気に入り 新潟日報

トップ > プロジェクト一覧 > 棚田の草刈りを効率化させて次世代に繋ぎたい!


## 棚田の草刈りを効率化させて次世代に繋ぎたい!

このプロジェクトは2022/05/31に終了いたしました。温かいご支援、ありがとうございました。



★ 集まっている金額	Success
¥2,206,000 (目標 ¥2,000,000)	
🚩 目標達成率	110%
👉 支援数	194
🕒 残り時間	終了しました

♡ お気に入りに追加する





# クラウドファンディングに挑戦

Safari ファイル 編集 表示 履歴 ブックマーク ウィンドウ ヘルプ

n-ippo.en-jine.com

7月9日(土) 7:31

☑ 棚田の草刈りを効率化させて次世代に繋ぎたい！ | クラウドファンディング - にいがた、いっば

詳細 新着情報 9 コメント リターン一覧

## 草刈りを少人数で効率化するために

今回のプロジェクトでは、草刈りの労力を削減し、少人数でも棚田の保全ができるようにするため、トラクターに取り付けて草が刈れるツインモアーを導入したいと考えています。

[ツインモアーの詳細ページはこちら](#)

ツインモアー ZMシリーズ\_クボタトラクタ\_mp4

共有

アームリーチ: 3.7m  
刈り幅: 800mm

ZM3708  
YouTube

1:34 / 3:49

その他の動画

この機械を活用する事で、農道やトラクターから届く範囲の草刈りが楽に短時間で出来るようになります。

もちろん、全ての草をこの機械で刈ることはできませんが、かなりの省力化につながります。

山清水米 (農薬化学肥料不使用はざかけ米) 5kg

¥10,000 (税込・送料込) 残り 0

詳細を見る 販売終了

ご提供予定時期: 6月9日

魚沼産コシヒカリ  
山清水米 (特別栽培米)

10kg

# 達成してツインモア導入



# クラウドファンディングへの流入元

ユーザーサマリ

売上サマリ

PV合計

5,933

セッション合計

4,612

UU合計

3,193

売上枚数

194

売上合計

2,206,000円

コンバージョン数

165

コンバージョン率

5.17%

平均購入額

13,369円

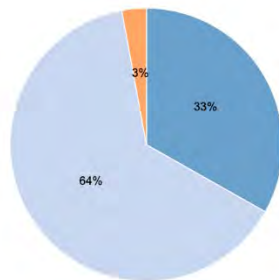
カテゴリ別流入元

● 直アクセス ● 検索経由 ● リンク経由 ● ソーシャル



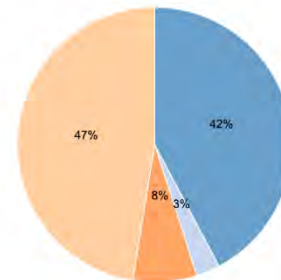
デバイス別UU

● PC ● モバイル ● タブレット



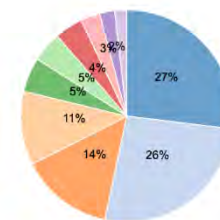
流入元 (ソーシャル)

● Facebook ● Instagram ● Twitter ● YouTube



流入元 (上位10件)

● youtube.com ● (direct) ● m.facebook.com ● google ● l.facebook.com ● lm.facebook.com ● l.co ● liketani.org ● yahoo ● m.mail.yahoo.co.jp



# 取り組みの時系列

R1年

R1年度産米  
収穫販売開始

10月

ふるさと  
納税開始

12月

R2年

YouTube  
毎日投稿開始

2月

R2年度産米  
収穫販売開始

10月

R3年

R3年度産米  
収穫販売開始

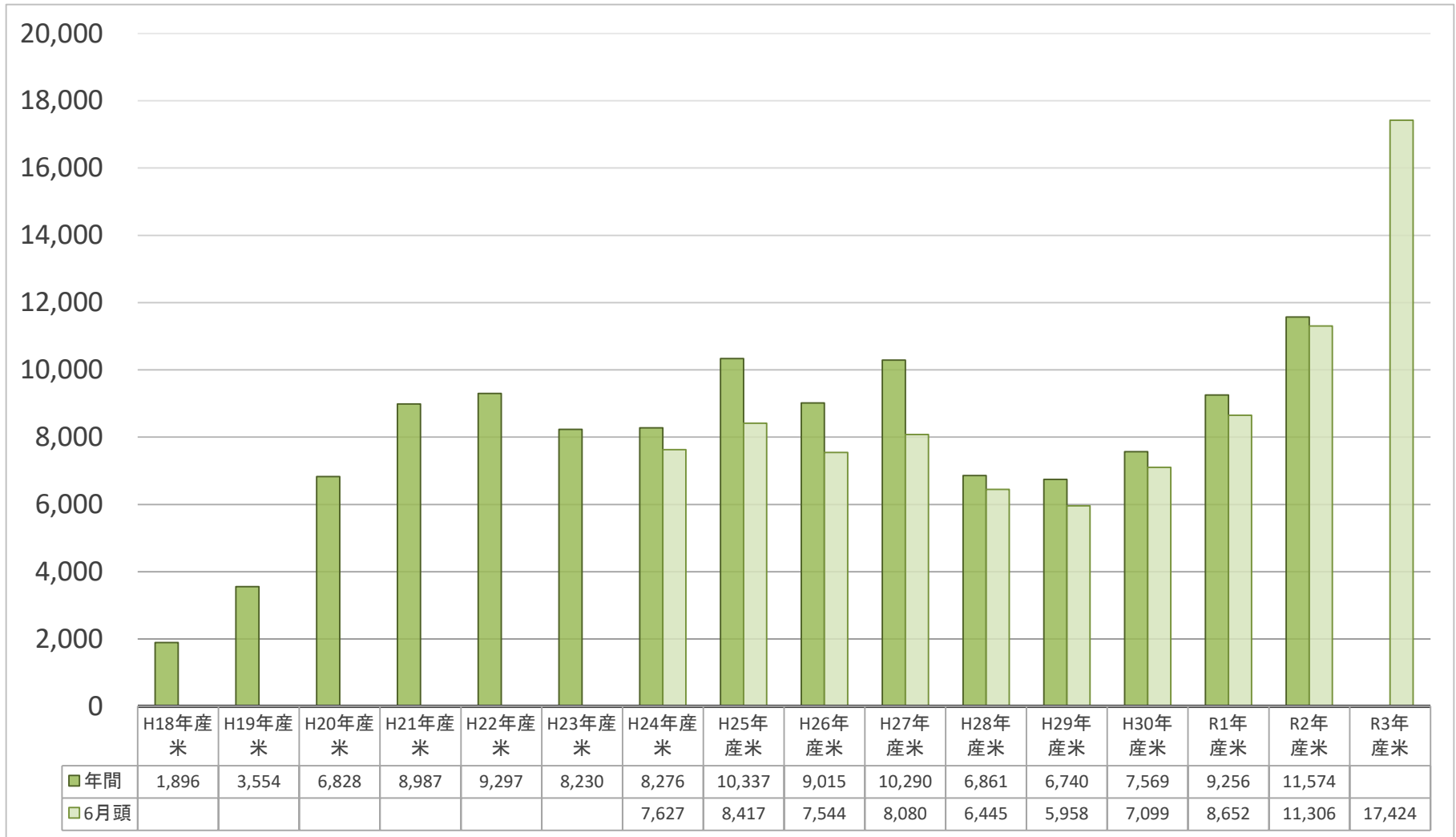
10月

R4年

クラウドファン  
ディング

5月

# 取り組み後直販量推移(kg)



# 「NPO法人地域おこし」の事業

- 池谷・入山モデル作り事業

- 農産加工品の生産・販売

- 地域外の人達との体験交流

- 地域おこし応援事業

# 年間を通じた体験イベント(春)







# 年間を通じた体験イベント(夏)





# 年間を通じた体験イベント(秋)







# 年間を通じた体験イベント(冬)









# 棚田オーナー制

「山清水米みんなの棚田」  
なかま募集！



# 企業の研修受け入れ



# Gozzo (オンライン交流イベント)



# Gozzo (オンライン交流イベント)



# Gozzo (オンライン交流イベント)



# ふるさと兼業

Safari ファイル 編集 表示 履歴 ブックマーク ウィンドウ ヘルプ

3月3日(水) 13:29

furusatokengyo.jp

ふるさと兼業 | 共感で選ぶ地方の兼業マッチング

愛する地域と共感する事業で選ぶプロジェクト型兼業・プロボノweb

**ふるさと兼業**  
FURUSATO-KENGYO

**PROJECT**  
プロジェクトを探す

**EVENT**  
イベントを探す

**ABOUT**  
ふるさと兼業について

**FOR COMPANY**  
企業・団体様へ

**MEDIA**  
メディア

ログイン 会員登録

共感と熱意から、はじまる

応援したくなる、挑戦したくなる  
兼業マッチング「ふるさと兼業」

株式会社  
日本酒研究所

# ふるさと兼業



愛する地域と共感する事業で選ぶプロジェクト型兼業・プロボノweb



PROJECT  
プロジェクトを探す

EVENT  
イベントを探す

ABOUT  
ふるさと兼業について

FOR COMPANY  
企業・団体様へ

MEDIA  
メディア

ログイン  
会員登録

トップページ > プロジェクト > 北信越エリア > 新潟県 > 限界集落を甦らせる! 棚田オーナーを増やすためのマーケティングプランナー



## 限界集落を甦らせる! 棚田オーナーを増やすためのマーケティングプランナー

🕒 2週間前 | 👁 2,074 view



### 📍 プロジェクトの特徴

#### 📅 関わり方

- 兼業
- スキマ時間
- 週1日~OK
- リモート可
- プロボノ

#### 👤 職種

- マーケティング
- 広報・PR

#### 📖 テーマ

- 伝統文化・技術
- 地域活性化・まちづくり
- 食
- 小売り・流通

🔒 ログインして応募する

# 農業後継者育成住宅「めぶき」建設

- 目的
  - － 中山間地の農山村に定住して農業をする後継者を増やす。
- 施設名称
  - － 「めぶき」: 農業を学ぶ人が独り立ちしていくという意味を込める。
- 進め方
  - － 十日町市内の建築家グループの協力の下、ワークショップ形式を織り交ぜ、多くの方の手垢がついた家づくりを行いつつ、建設費用を抑えながら進めた。





# 費用と資金調達の内訳

- 出資分
  - － 十日町市地域おこし実行委員会出資：4,721,771円
  - － 池谷集落会出資：500,000円
- 寄付金
  - － 寄付金：5,431,624円
  - － クラウドファンディング（手数料差引後）：1,263,100円
- 助成金
  - － 越後のふるさと木づかい事業：1,825,000円
  - － 十日町市新規ビジネス応援助成金：1,000,000円
- 費用総額：14,741,495円





# 農業後継者育成のための住宅を新潟県魚沼産の棚田米で作りたい！

+ 気になるリストに追加

ホーム

新着情報 15

応援コメント一覧 59



## 中山間地の未来を変えたい 家を建てたい

特集企画  
#9

## 「活かそう! 地域のチカラ!」



多田 朋孔(十日町市地域おこし  
実行委員会)

メッセージを送る

2010年2月に妻子とともに新潟県十日町市にターン、現在は特定非営利活動法人十日町市地域おこし実行委員会で農業と地域おこしの活動に取り組む

現在の達成金額

1,486,000 円

目標金額

1,000,000 円

スポンサー募集終了まで

終了しました

支援した人数

59 人

✓ プロジェクトが成立しました!

このプロジェクトは 2014年11月28日(金) に成立しました。

¥3,000 の支援で受取る引換券  
在庫制限無し

- 1) サンクスメール
- 2) 「めぶき」建設功労者にお名前を掲載



# 「NPO法人地域おこし」の事業

- 池谷・入山モデル作り事業
  - － 農産加工品の生産・販売
  - － 地域外の人達との体験交流

- 地域おこし応援事業

# 視察・講演







# 建設会社から除雪の依頼



# 市長とのふれあいトークにて



# 市長とのふれあいトークにて

## 特定地域づくり事業協同組合制度の概要

R4概算要求額 5.0億円  
(内閣府予算計上)

根拠法：地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律（令和2年6月4日施行）

### 人口急減地域の課題

- ・ 事業者単位で見ると年間を通じた仕事がない
  - ・ 安定的な雇用環境、一定の給与水準を確保できない
- ⇒人口流出の要因、UIJターンの障害

### 特定地域づくり事業協同組合制度

- ・ 地域の仕事を組み合わせて年間を通じた仕事を創出
  - ・ 組合で職員を雇用し事業者に派遣  
(安定的な雇用環境、一定の給与水準を確保)
- ⇒地域の担い手を確保

### 人口急減法の概要

対象：人口規模・人口密度・事業所数等に照らし、人材確保に特に支援が必要な地区として知事が判断  
※過疎地域に限られない

認定手続：事業協同組合の申請に基づき、都道府県知事が認定（10年更新制）

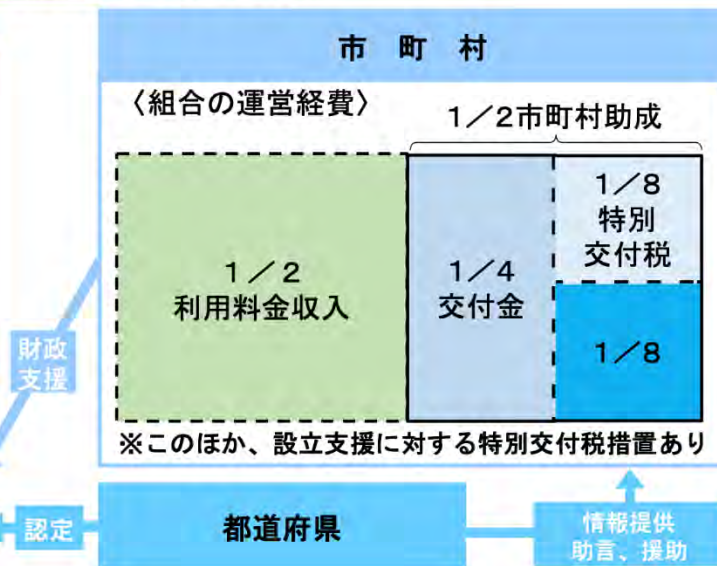
特例措置：労働者派遣法に基づく労働者派遣事業（無期雇用職員に限る）を届出で実施可能

### 特定地域づくり事業協同組合員



人材派遣      利用 ↓ 料金

特定地域づくり事業協同組合  
地域づくり人材の雇用 ⇒ 所得の安定・社会保障の確保



# 水力発電所を復活させようという話も



# 水力発電所を復活させようという話も



# 水力発電所を復活させようという話も



# 2015年3月の時点で実現した将来ビジョン

- 分校の体育館を多目的ホールにする(2010年度に体育館を改修)
- 村全体を法人化(2012年度にNPO法人化し、元々の集落の方は希望する人全てが理事になっています)
- 海外からも人が来る
- 米は全部直販(お米は個人への直販とお米屋さんへの直接出荷のみで農協には一部付き合いで出している方以外は出してません)
- 集落営農(2014年度から作業委託実施、農業参入完了したので2015年度からNPO法人名義で土地を正式に借りる)
- 加工品開発(加工所は作ってませんが2014年度から委託加工で白がゆ・山菜ご飯の素、野菜がゆを商品化)
- 若い人の住宅

# 2015年3月に3年後のビジョン作り





# 2018年4月に3年後のビジョン作り



# 2021年4月に3年後のビジョン作り



# 内容

- 自己紹介、地域紹介
- 活動紹介
- 何がかわりつつあるか

# 農業従事者の約8割が60歳以上

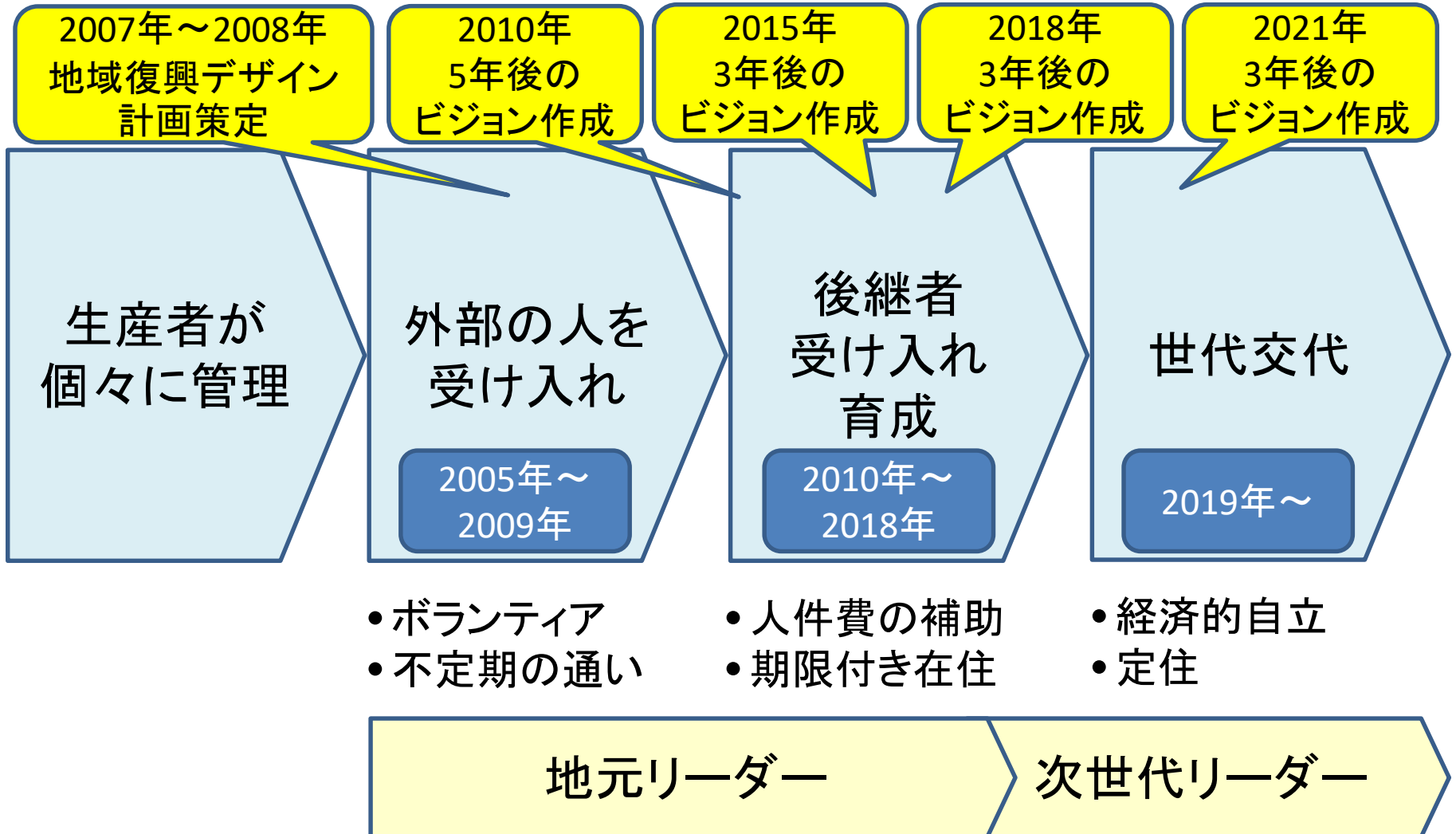
(9) 年齢別基幹的農業従事者数 (全国農業地域別)

1033.7千人

単位:千人

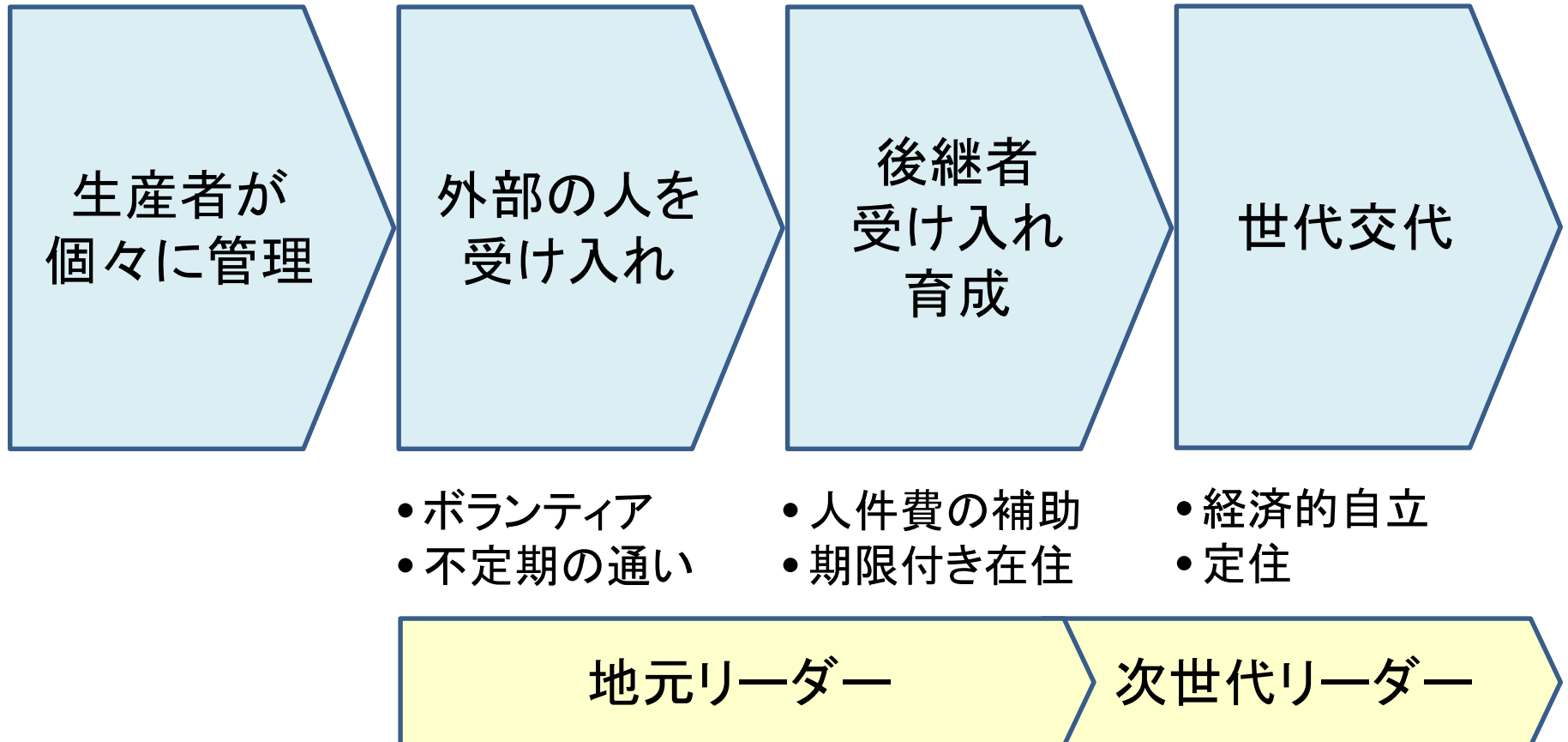
全国農業地域	男女計												
	計	29歳以下	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75歳以上	
全国	1,302.1	15.4	19.5	30.9	38.7	43.1	49.9	71.0	128.3	205.1	290.0	410.3	
北海道	72.1	3.2	3.3	4.5	5.3	5.4	5.7	7.5	8.8	9.3	9.5	9.9	
都府県	1,230.0	12.2	16.2	26.3	33.4	37.7	44.2	63.5	119.5	195.8	280.5	400.4	
東北	232.1	2.3	2.8	5.0	6.1	6.2	7.6	11.5	25.4	42.6	55.6	66.9	
北陸	71.0	0.3	0.6	0.9	1.2	1.7	1.7	2.4	6.1	11.9	19.3	24.9	
関東・東山	309.9	3.8	4.4	7.0	9.5	10.7	12.2	16.6	29.2	47.2	66.9	102.4	
東海	108.4	1.0	1.5	2.3	2.8	3.6	4.2	5.9	10.2	16.1	23.2	37.6	
近畿	105.4	0.6	1.0	1.8	2.3	3.0	3.4	4.6	9.0	17.0	26.4	36.4	
中国	90.4	0.3	0.6	1.2	1.4	1.6	1.6	2.3	6.6	14.4	23.6	36.8	
四国	79.6	0.6	1.1	1.7	2.1	2.5	2.9	4.3	7.1	11.2	19.4	26.6	
九州	221.2	3.1	4.0	6.1	7.6	8.0	10.1	14.8	24.2	33.3	43.8	66.0	
沖縄	12.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.4	0.6	1.1	1.7	2.0	2.2	3.0	

# 棚田保全の4段階



# 参考資料

# 棚田保全の4段階



# 農業の種類

- 食べ物をつくる
  - － 換金作物(攻め:高負荷価値・輸出)
  - － 日常食(守り:自給率・食料安全保障)
- 食べ物以外の価値をつくる(多面的機能)



# 農業・農村の多面的機能



# 農業・農村の多面的機能貨幣評価

機能の種類	評価額	評価方法
洪水防止機能	3兆4,988億円/年	水田及び畑の大雨時における貯水力を、治水ダムの減価償却費及び年間維持費により評価(代替法)
河川流況安定機能	1兆4,633億円/年	水田のかんがい用水を河川に安定的に還元する能力を、利水ダムの減価償却費及び年間維持費により評価(代替法)
地下水涵養機能	537億円/年	水田の地下水涵養量を、水価割安額(地下水と上水道との利用料の差額)により評価(直接法)
土壌侵食(流出)防止機能	3,318億円/年	農地の耕作により抑止されている推定土壌侵食量を、砂防ダムの建設費により評価(代替法)
土砂崩壊防止機能	4,782億円/年	水田の耕作により抑止されている土砂崩壊の推定発生件数を、平均被害額により評価(直接法)
有機性廃棄物分解機能	123億円/年	都市ゴミ、くみ取りし尿、浄化槽汚泥、下水汚泥の農地還元分を最終処分場を建設して最終処分した場合の費用により評価(代替法)
気候緩和機能	87億円/年	水田によって1.3℃の気温が低下すると仮定し、夏季に一般的に冷房を使用する地域で、近隣に水田がある世帯の冷房料金の節減額により評価(直接法)
保健休養・やすらぎ機能	2兆3,758億円/年	家計調査のなかから、市部に居住する世帯の国内旅行関連の支出項目から、農村地域への旅行に対する支出額を推定(家計支出)

出所:「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価について(答申)」日本学術会議 平成13年11月「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価に関する調査研究報告書」(株)三菱総合研究所 平成13年11月

# 中山間地の主要指数

(単位:万人、千ha、億円、%)

	全国	中山間地域	割合(%)
総土地面積(千ha)	37,185	27,307	73.4
人口(万人)	12,709	1,422	11.2
農地面積(千ha)	4,496	1,824	40.6
農業産出額(億円)	88,631	35,747	40.3

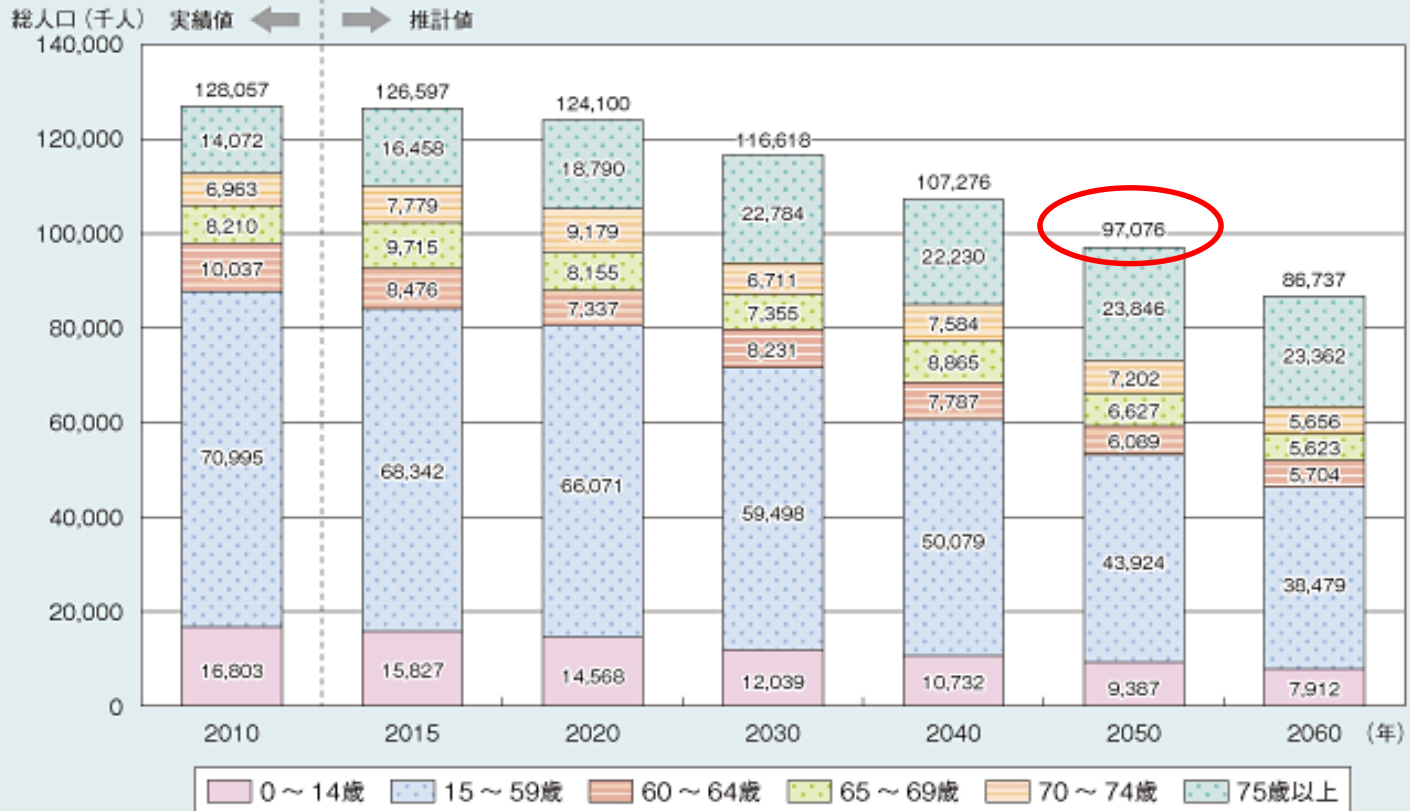
資料: 総務省「平成27年国勢調査」、農林水産省「2015年農林業センサス」、  
「平成27年耕地及び作付面積総計」、「平成27年生産農業所得統計」

注: 1) 農業地域類型区分は、平成25(2013)年3月改訂のものによる。

2) 中山間地域の各種数値は、上記の資料を基に農林水産省で推計

# 今後の将来予測

図 1-1-3 年齢区分別将来人口推計

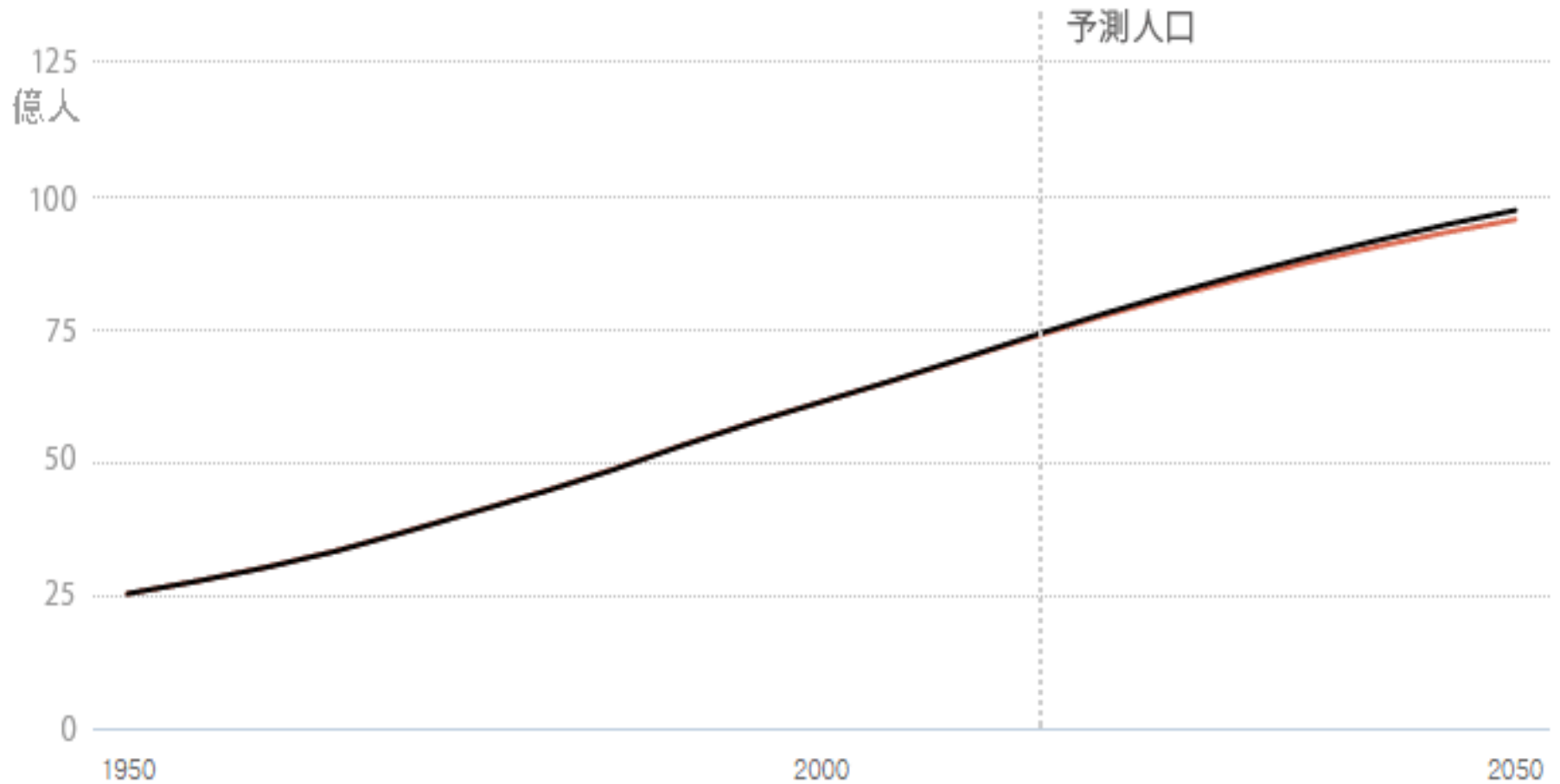


資料：2010年は総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

(注) 2010年の総数は年齢不詳を含む。

# 今後の将来予測

— 2014年の予測 — 2015年の予測

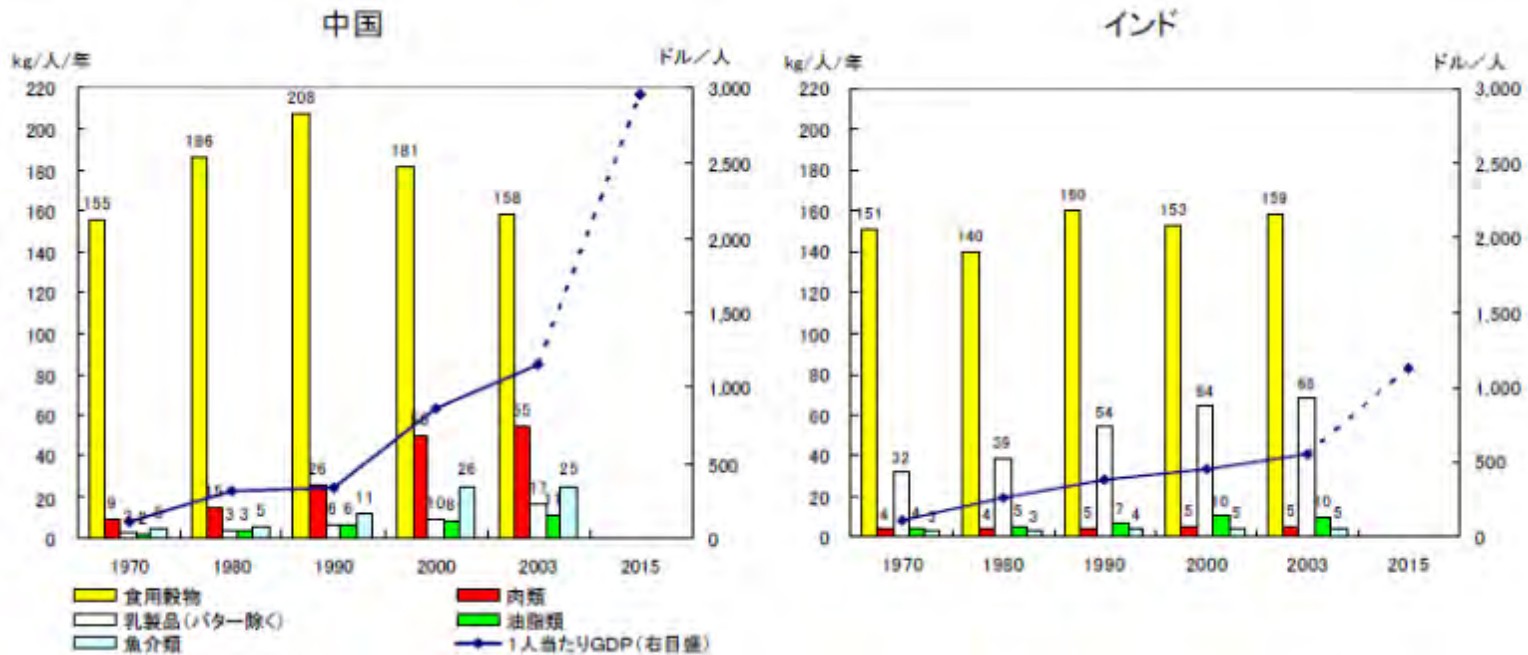


# 今後の将来予測

## 途上国における所得水準の向上と畜産物等需要の増加

○ 畜産物、油脂、水産物の需要は、食文化、宗教、気候・風土等にも左右されるものであるが、一般的に所得水準の向上に伴って増加する傾向にある。

□ 所得水準と穀物・畜産物・油脂・水産物の需要の推移



資料: 需要量はFAO「Food Balance Sheets」、1人当たりGDPはUN Statistics Division、2015年の1人当たりGDPはUN「World Population Prospects: The 2004 Revision and World Urbanization Prospects: The 2003 Revision」とFAPRI「U.S. and World Agricultural Outlook」を基に試算

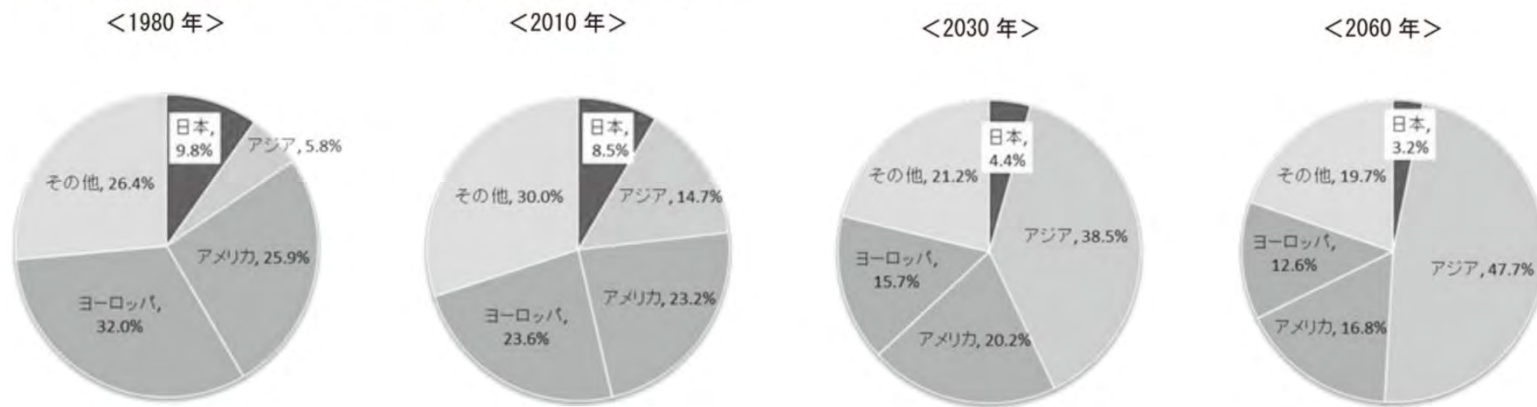
出所: 農林水産省ホームページより

# 世界経済に占める日本の割合の推移

## ●世界でのプレゼンス

世界経済における日本のプレゼンスは弱まりつつある。世界のGDPに占める日本の割合の推移をみると、1980年に9.8%だったものが、1995年には17.6%まで高まった後、2010年には8.5%になり、ほぼ30年前の位置付けに戻っている。現在のまま推移した場合には、国際機関の予測によれば、2020年には5.3%、2040年には3.8%、2060年には3.2%まで低下する。こうした「現状のまま推移した場合」の予測を変えていく努力が求められる。

<図表 3-2-15-1 世界経済（GDP）に占める国・地域別割合の推移>



(備考) IMF “World Economic Outlook Database, October 2014”、OECD “Economic Outlook (May 2014)” をもとに作成

\*アジアは次の4か国：韓国、中国、インド、インドネシア

\*ヨーロッパは次の15か国：アイルランド、イギリス、イタリア、オーストラリア、オランダ、ギリシャ、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、ルクセンブルグ

『選択する未来』委員会 第13回（平成26年11月14日）『選択する未来』委員会報告<参考資料集>より抜粋

なお、約10年前の経済財政諮問会議の専門調査会報告によれば、やはり長期的に世界のGDPに占める日本の割合は低下していくと予測していたが、当時の報告よりも現時点での見通しはさらに厳しくなっているといえる。報告は、1995年から2004年の実質GDP成長率等のトレンドが今後も継続するという仮定を置き計算した場合、世界経済に占める日本のシェアは、2030年には2004年の4分の1程度に大幅に低下すると試算した。経済規模では、2014年頃に中国に追い抜かれ、2030年頃にインドにほぼ肩を並べられ、2030年には、米国、中国、ユーロ圏に次いで、世界で4番目となっていると見込まれていた。構造改革が進まない場合、2030年には、一人当たりGDPでみても、米国やユーロ圏を大きく下回り、韓国が日本を上回っていると見込まれていた。実際には、中国に名目GDPでは2010年に抜かれており、当時の予測よりも早いペースで日本経済の立ち位置が弱くなってきているといえる。

# 今後の将来予測(私の見方)

- データより
  - 日本の農家の約8割が60歳以上
  - 日本の人口は減少
  - 世界の人口は増加
  - 途上国の経済成長により食べ物が贅沢に
- 予想される事
  - 世界の食糧需要が激増する
  - 日本の農家が激減する
  - 日本の経済力は相対的に落ちる
  - 途上国の原料が安いままでは続かない
  - 世界中で将来食糧が安く手に入る保証はない
- 必要な事
  - 日本は国内で食料・エネルギー等生活に必要なものを確保できる手段を持つべき



# 米一俵の価格変動史

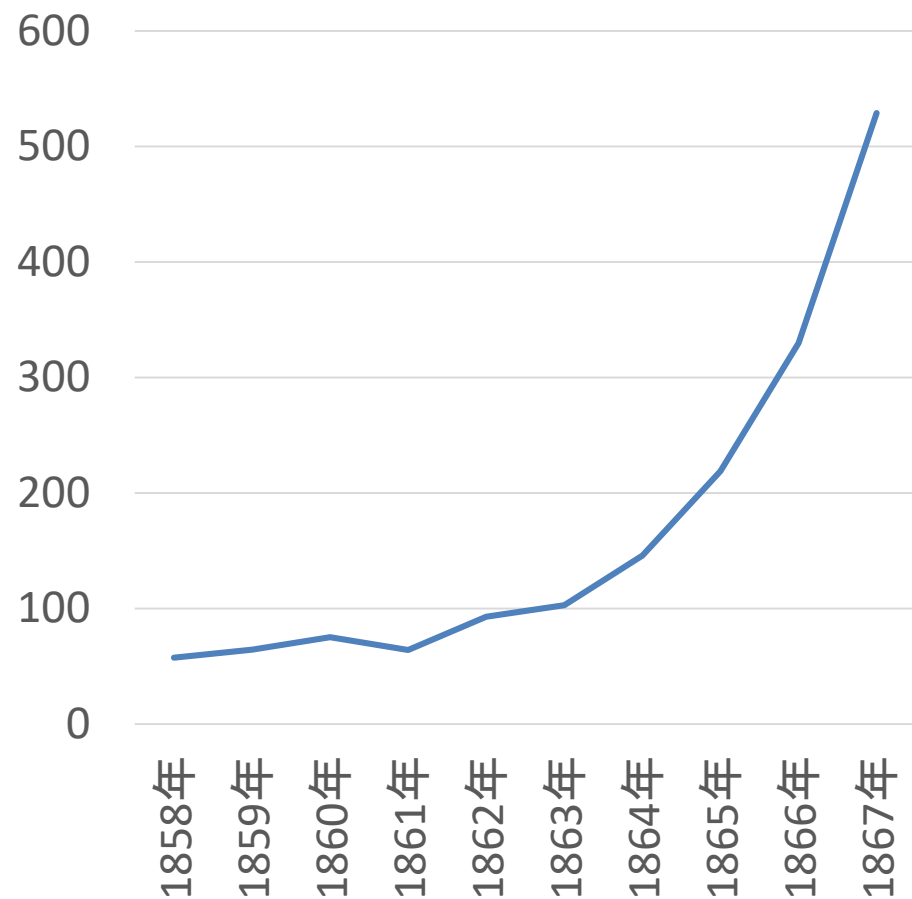
米一俵の価格変動史

年	明治	大正	昭和
明治元年	金十八圓		
二年	金十八圓		
三年	金十八圓		
四年	金十八圓		
五年	金十八圓		
六年	金十八圓		
七年	金十八圓		
八年	金十八圓		
九年	金十八圓		
十年	金十八圓		
十一年	金十八圓		
十二年	金十八圓		
十三年	金十八圓		
十三年	金十八圓		
十四年	金十八圓		
十五年	金十八圓		
十六年	金十八圓		
十七年	金十八圓		
十八年	金十八圓		
十九年	金十八圓		
二十年	金十八圓		
二十一年	金十八圓		
二十二年	金十八圓		
二十三年	金十八圓		
二十四年	金十八圓		
二十五年	金十八圓		
二十六年	金十八圓		
二十七年	金十八圓		
二十八年	金十八圓		
二十九年	金十八圓		
三十年	金十八圓		
三十一年	金十八圓		
三十二年	金十八圓		
三十三年	金十八圓		
三十四年	金十八圓		
三十五年	金十八圓		
三十六年	金十八圓		
三十七年	金十八圓		
三十八年	金十八圓		
三十九年	金十八圓		
四十年	金十八圓		
四十一年	金十八圓		
四十二年	金十八圓		
四十三年	金十八圓		
四十四年	金十八圓		
四十五年	金十八圓		
四十六年	金十八圓		
四十七年	金十八圓		
四十八年	金十八圓		
四十九年	金十八圓		
五十年	金十八圓		
五十一年	金十八圓		
五十二年	金十八圓		
五十三年	金十八圓		
五十三年	金十八圓		
五十四年	金十八圓		
五十五年	金十八圓		
五十六年	金十八圓		
五十七年	金十八圓		
五十八年	金十八圓		
五十九年	金十八圓		
六十年	金十八圓		
六十一年	金十八圓		
六十二年	金十八圓		
六十三年	金十八圓		
六十三年	金十八圓		
六十四年	金十八圓		
六十五年	金十八圓		
六十六年	金十八圓		
六十七年	金十八圓		
六十八年	金十八圓		
六十九年	金十八圓		
七十年	金十八圓		
七十一年	金十八圓		
七十二年	金十八圓		
七十三年	金十八圓		
七十四年	金十八圓		
七十五年	金十八圓		
七十六年	金十八圓		
七十七年	金十八圓		
七十八年	金十八圓		
七十九年	金十八圓		
八十年	金十八圓		
八十一年	金十八圓		
八十二年	金十八圓		
八十三年	金十八圓		
八十三年	金十八圓		
八十四年	金十八圓		
八十五年	金十八圓		
八十六年	金十八圓		
八十七年	金十八圓		
八十八年	金十八圓		
八十九年	金十八圓		
九十年	金十八圓		
九十一年	金十八圓		
九十二年	金十八圓		
九十三年	金十八圓		
九十四年	金十八圓		
九十五年	金十八圓		
九十六年	金十八圓		
九十七年	金十八圓		
九十八年	金十八圓		
九十九年	金十八圓		
一〇〇年	金十八圓		

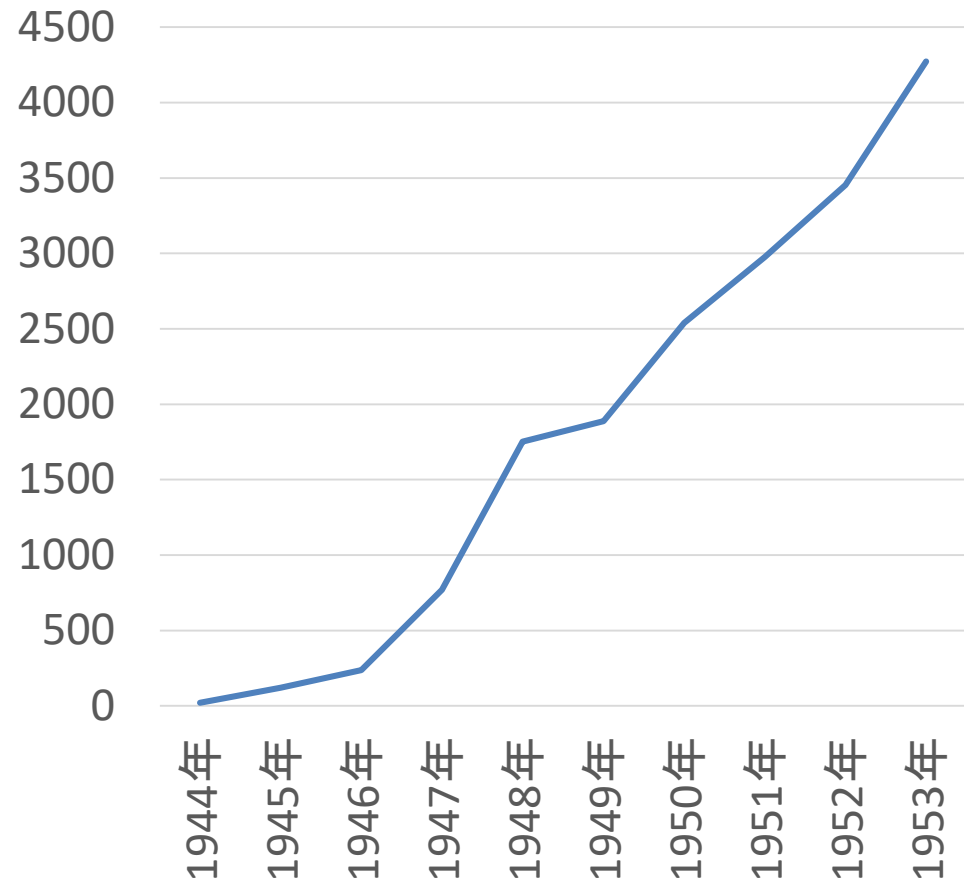
明治製糖株式会社

# 時代の転換期で経済をリセット

幕末の10年間(1858年から1867年)  
の米1俵の価格推移(単位:銭)



終戦前年から10年間(1944年から1953年)  
の米1俵の価格推移(単位:円)



# 時代の転換点は約80年？

- 明治維新 1868年 77年
- 終戦 1945年 75年
- コロナウイルス 2020年